



# 第39号

# 支援員だより

発行元

公益財団法人  
山口県ひとづくり財団 県民学習部  
〒754-0893 山口市秋穂二島1062  
TEL 083-987-1730  
FAX 083-987-1760  
E-mail yh-kengaku@hito21.jp  
URL https://hito21.jp

※住所変更等、支援員に関するお知らせ先は裏面へ

## 第1回研修会を行いました

日時 9月24日(日)  
会場 萩博物館、北の総門そば  
内容 ミズアオイや他の希少種の生息状況等について(講義・観察)



## 研修会講師寄稿

山口県樹木医会 草野隆司

「一輪の花からミズアオイの再生・広がる波紋へ」のタイトルでお話をさせていただきました。

講義の中でお話ししましたが、昭和40年代まで萩の椿東地区や三角州内は湿地であり、広大な水田や蓮田が広がっていました。高度経済成長以後の開発などで多くの湿地は住宅や道路に変わっていきました。

ミズアオイ(写真1)にとって安住の地が失われていくとともに、次第にその姿を見ることが少なくなり、ついに絶滅が危惧される種となりました。

残された蓮田で最後に見かけて以後、十数年間確認できませんでしたが令和元年秋、蓮田に咲く1輪の紫の花を見つけた時の感動は今でも新鮮に記憶しています。

その種子から始まったミズアオイの保育保護活動は、市民有志の協力から堀内町内会有志の保護活動への発展となって現在に至っています。

これまでミズアオイが新聞やテレビなどの話題に上がることはありませんでしたが、萩市でのミズアオイの取り組みが報道されたことで、県外の生息地での開花や保護団体の取り組みなどが開花時期に報道されるようになりました。

これも「一輪のミズアオイから・・・」と勝手に解釈しています。

今回の現地研修では「見事に咲いたミズアオイ」を見ていただくことはできなくて、少しの「残念」を残しています。

9月6日の1時間60mm以上の短時間豪雨によって生息地が大水で洗われてしまいました(写真2)が、皆さんを迎えるために堀内町内有志により整備(写真3)をしていただきました。

例年であれば9月10日ごろから咲き始めますが今年の猛暑の影響により10日遅くの開花となりました。

この秋、いつも観察する江向の蓮田でミズアオイの小群生(写真4)を確認しました。

大きなハスの葉の下でひっそりと生き延び、ハスの葉が枯れ始めるころに花を開き、種子の残し、そして次代に命をつなげる、その姿のけなげさに心引かれます。

これからも、地元町内の有志の皆さんと、この紫色の宝石のような花の応援団の一員でありたいと思います。



写真1 ミズアオイ



写真2 整備前



写真3 整備後



写真4 小群生

## ツヤハダゴマダラカミキリが特定外来生物に指定されました

ツヤハダゴマダラカミキリ（写真 1）は山口県内の河川敷や公園、街路樹などで被害が確認されており、令和 5 年 9 月 1 日に外来生物法による「特定外来生物」に指定されました。特定外来生物は、飼育、栽培、保管、運搬、輸入、販売、放出等が原則禁止されています。

＜原産地＞中国、朝鮮半島

＜特徴＞成体の体長は約 20mm-35mm

＜生態＞成虫は 5～10 月に出現し雌は樹木にすり鉢状のかみ傷をつけながら産卵（写真 2）。幼虫は樹木内部で過ごし、直径約 10-15mm の脱出孔を開けて脱出（写真 3）。

＜被害木＞県内における主な被害木はヤナギ類、アキニシ、ポプラなどですが、国内外では幅広い樹種で被害が報告されています。幼虫が樹木の内部を食べるため、被害が進行すると、被害木の枯損や折損が懸念されます。

写真1 ツヤハダゴマダラカミキリ雌



写真2 産卵痕



写真3 脱出孔



### ＜ツヤハダゴマダラカミキリ（特定外来生物）とゴマダラカミキリ（在来種）との見分け方＞

ツヤハダゴマダラカミキリ（特定外来生物）とゴマダラカミキリ（在来種）は似ていますが、主な見分け方は次のとおりです。

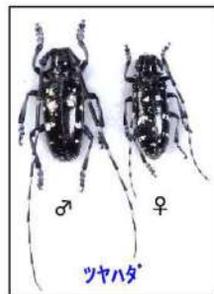
- ・ゴマダラカミキリは前胸に白紋があるが、ツヤハダゴマダラカミキリにはない
- ・ゴマダラカミキリは小盾板に白色部があるが、ツヤハダゴマダラカミキリは目立たない
- ・ゴマダラカミキリは上翅基部に細かい突起（顆粒状突起）があるが、ツヤハダゴマダラカミキリにはない

#### ツヤハダゴマダラ

#### カミキリを発見したら

ツヤハダゴマダラカミキリを発見した場合は、可能な限り捕殺にご協力をお願いします。また、分布状況把握のため、発見場所、被害木の本数や樹種、個体数等を自然保護課まで情報提供ください。

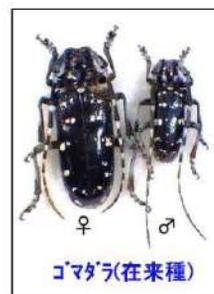
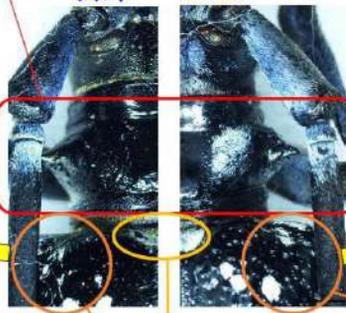
※ツヤハダゴマダラカミキリは特定外来生物に指定されており、生きたままの個体の運搬や飼養等が原則禁止されています。



小盾板の毛の違い  
※ツヤハダは目立たない

前胸背板の白紋の有無  
※分かりにくい場合有

ツヤハダ      ゴマダラ



上翅基部の顆粒状突起の有無  
※ツヤハダは無い